

酒田市男女共同参画推進センター

No.99

ウィズ・レター



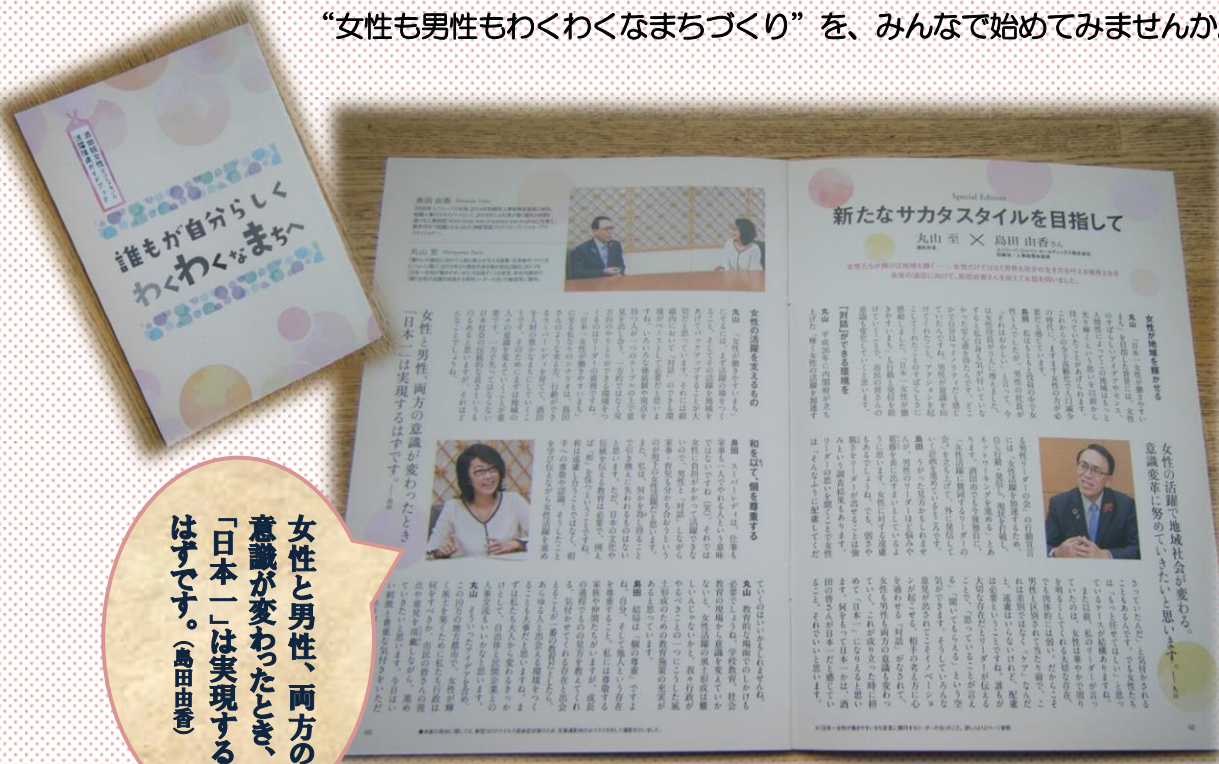
目次 ▼「酒田版女性（だけじゃないよ）活躍推進ガイドブック」の紹介▼「女性に対する暴力をなくす運動」活動報告▼「デートDV防止講座」実施報告▼ウィズ図書新刊の紹介

“誰もが自分らしくわくわくなまちへ”

酒田市は、「日本一女性が働きやすいまち」実現に向けて、『酒田版女性(だけじゃないよ)活躍推進ガイドブック』を発行しました！

令和3年1月1日に発行された「酒田版女性（だけじゃないよ）活躍推進ガイドブック」には、新たなサカタスタイルを目指して、丸山酒田市長とユニリーバ・ジャパン・ホールディングス（株）取締役/人事総務部長の島田由香さんとの対談を始め、誰もがその力を発揮できる職場づくりに取り組んでいる酒田市内の事業所の紹介と、酒田市女性活躍推進懇話会委員の皆さまからのメッセージ、また、誰もが自分らしく働きやすいまちにするためにはどうしたらいいのか、自分は何をしたらいいのか、タイプ別に事業主のみなさんから酒田に暮らすすべてのみなさんに向けて紹介しています。

“女性も男性もわくわくなまちづくり”を、みんなで始めてみませんか。



女性と男性、両方の意識が変わったとき、「日本一」は実現するはず！です。(島田由香)

「酒田版女性（だけじゃないよ）活躍推進ガイドブック」は、交流ひろばのほか市内公共施設などにも配置されています。酒田市広報令和3年1月1日号には、特集として“ガイドブックダイジェスト版”を掲載しています。また、働く女性を応援するさまざまな情報が満載の“酒田市女性応援ポータルサイト”から、ガイドブックをダウンロードもできます。ぜひご覧ください。

◆酒田市女性応援ポータルサイトへ



「女性に対する暴力をなくす運動」活動報告

11月12日(木)から25日(水)までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、日和山公園六角灯台ライトアップと市役所1Fフリースペースにおいてパネル展を実施しました。今年のテーマは「性暴力をなくそう」です。児童虐待とDVは密接に関係することも多く、児童虐待防止のシンボルでもある「オレンジリボン」と女性に対する暴力根絶のシンボル「パープルリボン」を組み合わせた運動を行いました。また、11月20日(金)に、山形県福祉相談センター所長の五十嵐哲朗さんを講師にお迎えし、「DV・児童虐待防止講演会」を開催しました。

パープルライトアップ
日和山公園六角灯台
11/12(木)～11/25(水)

パネル展：酒田市役所1Fフリースペース
11/16(月)～11/27日(金)



◆オレンジリボン&パープルリボン運動

◆ドメスティックバイオレンス

「DV・児童虐待防止講演会」
日時：11/20(金) 10:00～11:30
講師：五十嵐 哲朗 氏 (山形県福祉相談センター所長)
会場：希望ホール



◆男女共同参画早わかり
◆男女共同参画統計学習パネル
(出典：独立行政法人国立女性教育会館)

デートDV防止講座「お互いを大切にする関係とは」を開催しました！

9月7日(月) 酒田市立酒田看護専門学校【参加者：30名】：12月10日(木) 山形県立酒田光陵高等学校【参加者：323名】
講師：庄内ちえりあ 岸井 綾子 氏

深刻な社会問題にもなっているDVは、配偶者間のみならず交際中の若い世代でも起きています。あらゆる暴力を未然に防ぐためには、若いうちからDVに対する正しい認識と、男女が対等な立場でお互いの人権を尊重することを学ぶ機会が必要とされています。また、交際相手との間で、暴力の加害者にも被害者にもならない、お互いが対等な関係を作っていくことは、将来にわたって自分の人生を豊かなものにつなげます。そこで、本市では、講師に庄内ちえりあの岸井綾子さんをお迎えし、高校生等を対象としたデートDV防止講座「お互いを大切にする関係とは」を開催し、「デートDVとは何か、それを防ぐために必要なこと」を伝えています。今年度は、酒田看護専門学校さんと酒田光陵高校さんと共催しました。

酒田看護専門学校



酒田光陵高等学校



【動画を観た後、隣同士、前後に意見交換をする酒田看護専門学校生】

参加者同士が話し合いをしたり、全体で共有することで、学びを深めることができました。



【尊重のない会話と、尊重のある会話を庄内弁で演じた酒田光陵高等学校生】

生徒が演じることで、参加者は、お互いに尊重する大切さを身近に感じることができました。

参加者の声 (アンケートから)

- デートDVは暴力だけでなく、相手を支配することにもつながってしまうと知ったので、恋人同士というくくりだけでなく、友達との付き合いの中でも絶対に同じようなことをしないように生活していきたいです。
- 加害者の頭の中は、すべて自分中心で、被害者は嫌だと言えないため上下関係が生まれてしまうのだと思いました。メッセージを使って、自分も相手も傷つけないようにしたいです。
- 嫌なことははっきりいう事、約束を作りすぎて束縛しないことなどを意識していきます。お互いが相手のことを考えて尊重しあっていきたいです。
- 「え！それも!？」と思うことでも、相手が嫌だと感じたらデートDVになってしまうということがわかりました。
- これからの生活にかかせない情報だったので、この講義で聞いたことを大切にしていきたいです。

ウィズ図書コーナーのご案内



- 場所：1階交流ひろば図書コーナー
- 貸出は1人5冊まで、2週間以内に返却

男女共同参画の視点から、気になっている本や、ウィズサポーター会議で話題になった本などを取り揃えてみました。ぜひご利用ください！



『炎上CMで読み解くジェンダー論』

著者：瀬地山 角

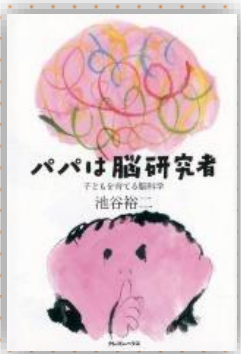
SNS が発達した現代、「CM」と「炎上」は切っても切れない関係となった。とりわけジェンダーに対する無理解に端を発する炎上案件は数知れない。最近も日本赤十字社のポスターが炎上したばかりだ。一方で、新しい人間や家族のかたちを描いて共感を抱かれた広告もいくつか存在する。両者をわかつものは何だったのだろうか？東大で人気講義を開く社会学者が「CM」を切り口に語る、目から鱗のジェンダー論。



『男女格差後進国の衝撃』 ～無意識のジェンダーバイアスを克服する～

著者：治部 れんげ

日本の男女格差は先進国で最下位！長年ジェンダー問題について取り組んできた著者が、世界の取り組みを紹介しつつ、日本で男女格差が縮まらない理由を考察。国内の成功例を挙げながら、次世代のためにできることを提案する。今の日本であなたの娘は輝けますか？



『パパは脳研究者』 子どもを育てる脳科学

著者：池谷 裕二

子どもの脳って育てられるの？脳研究者、池谷裕二さんが、娘さんの4歳までの成長を、脳の発達と機能の原理から分析し、子育てのコツとして惜しみなくご紹介！専門家だから伝えられる「脳科学の育児術」は、大人にとっても新しい発見があること、間違いなしです。



ほしいのは 『つかれない家族』

著者：ハラユキ

ポストコロナ時代を生きる、新しい家族のトリセツ。東洋経済オンラインの人気連載を書籍化。ワンオペ家事&育児の絶望から、夫を巻き込みストレスレスな家庭づくりをめざして立ち上がった著者の奮闘記。家族という他人とどう過ごすか！？問題、様々なハードルを乗り越え「希望」と「笑顔」を取り戻す、救いのコミックエッセイ。

酒田市地域創生部 地域共生課 男女共同参画係
男女共同参画推進センター **ウィズ**

開館 月～土 : 9:00 ~ 22:00
日・祝 : 9:00 ~ 17:00
相談 月～金 : 9:00 ~ 16:00 (祝日除く)
〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5
交流ひろば内

Tel : 0234 (26) 5616

Fax : 0234 (26) 5617

E-mail : with@city.sakata.lg.jp

ウィズのHPに
アクセスできます

